

小さいお子さんへの お薬の上手な 飲ませ方・使い方



目次

- ・ はじめに
- ・ お薬を飲ませる際に守っていただきたいこと
- ・ お薬を飲ませる時の基本事項
- ・ 1、散剤（こな薬）の飲ませ方
 - └1-1…お薬を飲ませる際に注意すべき組み合わせ
 - └1-2…お薬を飲ませる前に気を付けること
 - └1-3…飲み薬でよくある質問
- ・ 2、シロップ剤の飲ませ方
- ・ 3、錠剤の飲ませ方
- ・ 4、坐剤の使い方
 - └4-1…坐剤の切り方、挿入方向について
 - └4-2…坐剤でよくある質問
- ・ 5、点鼻薬の使い方
- ・ 6、点眼剤（目薬）の使い方
- ・ 7、軟膏薬（塗り薬）の使い方
- ・ 大きいお子さんへの服薬の工夫
- ・ 「まずい」を克服しよう！

項目をクリックしていただくとそのページに飛びます！



はじめに

お子さんが体調を崩してしまい辛そうな時、少しでも早く元気に戻って欲しいですね。
その為には正しくお薬を使い安全に、効果的にお薬の効果を発揮させなければなりません。

保護者の方にお薬の使い方を理解していただき、
お子さん自身が正しくお薬を使えるようになるために
必要なことです。

またここにはお薬の使い方を簡単にまとめていますが、
お子さんの飲んでいるお薬の疑問を解決出来ない場合
もございます。
何か疑問や質問があった場合はかかりつけの薬剤師に
ご相談してください。
この案内がお薬を正しく使う手引きとなれば幸いです。



お薬を飲ませる時に守っていただきたい事

- 必ず医師からの指示通りに使用し、保護者の判断で勝手中止したり、飲み方や使い方を変えたりしないでください。



- 残った薬は取っておかずに処分してください。
お薬はその時のお子さんの年齢、体重をあわせて処方されています。
似ている症状だからといって同じお薬が適切だとは限りません。
お薬が必要になったらその度医師にお薬を処方して貰いましょう。
- お薬は日が当たらず湿気の少ない場所に保管してください。
シロップ剤・目薬や坐剤は冷蔵庫で保管してください。
またお子さんが誤って飲まないようにしてください。



お薬を飲ませる時の基本事項

- ・手を清潔にしてからお薬を飲むのを手伝ってあげてください。
- ・乳幼児の場合は食事時間が不規則になることもあります。満腹になるとお薬を飲まなかったり、吐き戻すと言ったこともございます。
お薬を服用させる時は誤嚥を防ぐために抱っこなどをして上体を起こして飲ませてあげてください。
また満腹によりお薬を飲ませることが難しく感じる事があればかかりつけの薬剤師とご相談の上、問題が無ければ食前に飲ませる事も出来ます。



1、散剤（こな薬）の飲ませ方

- ・ オブラートに包む場合
オブラートに包んで飲ませる場合、ただお薬を包んで飲ませるのではなくお薬を包んだオブラートの外側を濡らしてとろみを出してあげると飲みやすくなります。
- ・ 服薬補助ゼリーをお使いになる場合
ゼリーの上にお薬を乗せて飲ませるのではなく、ゼリーの上にお薬を乗せて、その上からまたゼリーで挟んであげると飲みやすくなります。こんにゃくゼリーのような弾力のあるもので代替するとのどに詰まらせる事があるのでおやめください。
- ・ 安易に薬を主食に混ぜない！
お子さんの主食（ミルクやご飯）にお薬を混ぜて服用させると味を覚えてしまい、主食が苦手になってしまうことがあります。



- 1-1 お薬を飲ませる際に注意すべき飲み合わせ
炭酸飲料やスポーツドリンクのほかに果汁を多く含んだ飲食物には混ぜないでください。
お薬の味が変わってしまったり、お薬本来の効果や吸収に影響を与えてしまうことがあります。

抗生物質と酸性飲料（柑橘系のジュース、乳酸菌飲料、スポーツドリンク等）飲食物が弱い酸性の場合、お薬と一緒に接種するとお薬のコーティングが剥がれ、苦みが出現する事があります。

- a. マクロライド系抗生物質
エリスロシン、クラリシッド、クラリス、ジスロマック、ミオカマイシン、ミカマイシンなど
- b. セフェム系抗菌薬
フロモックスなど
- c. ペニシリン系抗生物質
ユナシン、ビクシリンなど
- d. 抗生物質と粉ミルクや牛乳と言ったカルシウムを含む飲食物乳製品に含まれる成分と結合して薬剤の吸収が悪くなるもの
- e. テトラサイクリン系…ミノマイシンなど
- f. セフェム系…セフゾン、ケフラールなど
- g. ペニシシリン系…オーグメンチンなど



1-2 お薬を飲ませる前に気を付けること

たくさんの量の食べ物に混ぜてしまうと食べきれなかった時、必要な量のお薬を飲めていないと言ったことが起こってしまいます。

食べ物に混ぜる時は少量の飲食物に十分量のお薬を一緒にして飲ませ、後味を消すように飲食物をあげてください。

一歳未満のお子さんにハチミツを使っての服用はおやめください。

一歳未満の乳児は腸内環境が大人に比べ未発達です。ハチミツに含まれていることがあるボツリヌス菌に対して抵抗がなく、乳児ボツリヌス菌症を発症させる恐れがあります。

〈混ぜると服用させやすくなる飲食物〉

- ・ アイスクリーム
- ・ ジャム
- ・ プリン



上記の3つ。

特にジャム、プリンは味がしっかりとしており、風味も強いのでお薬の食感や風味、味の全てをマスクする事も難しくありません。

食べ物に混ぜる時は少量の飲食物に十分量のお薬を一緒にして飲ませ、後味を消す様に飲食物をあげてください。

1-3 飲み薬でよくある質問

a. 飲み薬の回数と時間について

小児、特に乳幼児（1才未満のお子さん）では満腹になるとお薬を飲ませることが難しくなるので気を付けましょう。

b. 頓服薬のアレコレ

頓服薬とは指示された症状が出た時に飲ませるお薬です。

また1日の内症状が出る限り何回でも使っていいお薬というお薬でもありません。

必ず医師や薬剤師の指示に従ってください。

頓服薬で一番多いのが発熱時に飲ませるお薬です。

主に使用後1時間ほどで効き目が出てきます。

また頓服薬を続けて使う場合は少なくとも6時間は空けて使用してください。

Q. お薬を飲んでから吐いてしまった場合どうしたら良いですか？

A. 原則として追加での服用はやめてください。

ただし飲んですぐに吐き出し、ほとんど吐いてしまったと思われる場合は再び同量を飲ませてあげてください。

Q. お薬を飲んでからひどい下痢や発赤が出た時どうすればいいですか？

A. お薬によるモノだとは断定できませんが、気がついた時点で小児科にご相談ください。

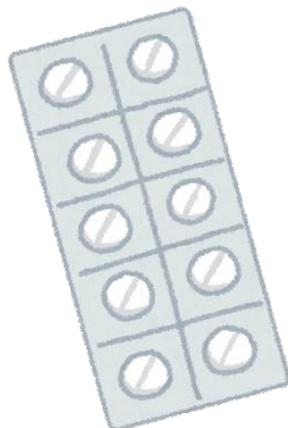
2、シロップ薬の飲ませ方

- ・むせない様に抱き上げるなど、身体を起こして飲ませてあげてください。
- ・シロップが入っているため雑菌が繁殖しやすく、傷みやすいので普段は冷蔵庫で保存してください（同じ理由で容器の口やスポイトの先には素手で触れないようにしてください）。
飲ませる前に容器を軽く振って中身を均一にして下さい。強く振りすぎると泡立ち、正確に測り取ることが難しくなることがありますのでお気をつけください。
使用したスポイトやカップは使用後洗浄し、清潔にしておいてください。
- ・測ったお薬は全て飲ませてください。
容器にお薬が残っているようであれば少量の水を容器に入れ、残っている分も飲ませてあげてください。
シロップ剤は後味がくどいモノが多いので服用した後はお水などで口の中に残っている分も流してあげるように飲ませてあげると良いでしょう。
- ・医師が飲みやすいように粉薬と一緒にシロップ剤も処方する事があります。
その際粉薬をシロップに全て溶解させ作り置きするのではなく、飲む直前に一回分だけを溶解してその都度服用させてあげてください。



3、錠剤の飲ませ方

- ・錠剤は飲めるようになるまで個人差があります。焦らずゆっくり練習していきましょう。
- ・寝かせたままだと詰ませることがありますので上体をどこかに預けるなどして起こして飲ませてあげましょう。
- ・錠剤は口の中で引っかかりやすいものがあります。あらかじめ水を飲ませるなどして口の中を湿らせておくのが良いでしょう。
- ・錠剤は舌の奥に入れるようにして、水をすぐに飲ませてあげましょう。飲んだ後は口の中にお薬が残っていないか確認してあげてください。
- ・「錠剤を砕いてあげてもいいの？」という質問がありますが、砕いてしまうとお薬本来の効果が発揮できなくなるモノや、効果が強く出てしまうモノもあります。保護者の方の判断でそういった事をするのはおやめください。気になった所はお気軽にご相談ください。



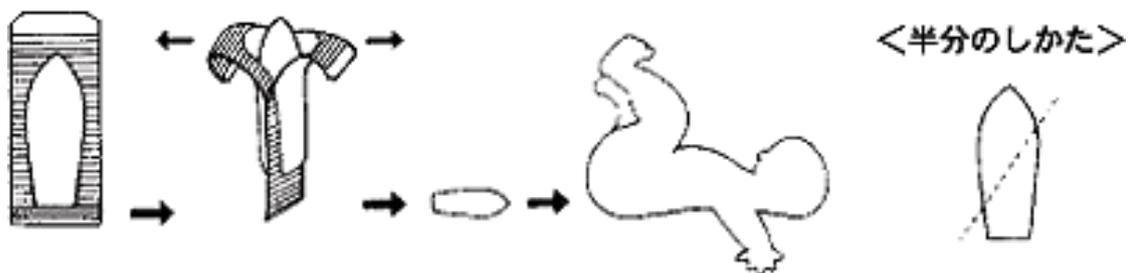
4、坐剤の使い方

- ・ 坐剤は溶けやすい様に脂で形作られています。使用前は冷蔵庫などで保存し、挿入前に手のひらで容器の上から溶けない程度にあたためてから使用してあげてください。溶けてしまった坐剤は一回の使用量が丸々一個だった場合は再び冷蔵庫などで固めてから使用できますが1/2個や2/3個などの指示だった場合、使用はおやめください
- ・ 坐剤を挿入する前にきれいに手を洗ってください。小さいお子さんの場合紙おむつを替える体位で仰向けに寝かせ、両足を上げてその状態で坐剤のとがった方から肛門に挿入し、しっかりと奥へと押し込みます。（この時奥に射し込むことばかり考えて行くとお子さんの腸壁を傷つけてしまう恐れがありますのでお気を付けてください）
- ・ 挿入後は5秒ほど肛門をそのままティッシュなどで押さえてやり、異物感などから来る反射で力み、薬を戻そうとするのを抑えてあげましょう。挿入を確認したら手を洗ってください。

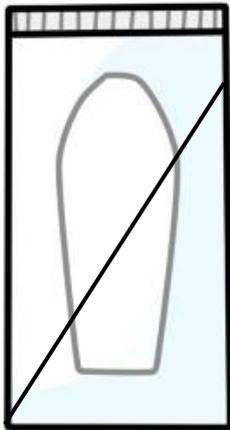
ワンポイント！

挿入の刺激で便意を催すことがあるので排便後に坐剤を挿入してあげるとよいでしょう。

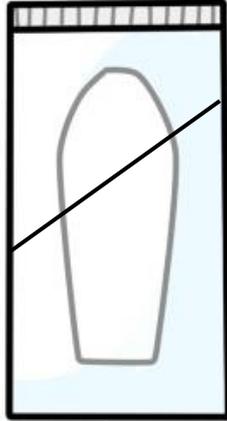
また坐剤の先をオリーブオイルや水で濡らしてあげると挿入しやすくなります。



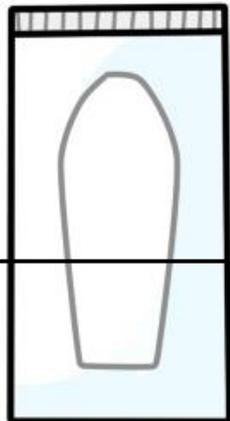
4-1、座薬の切り方と挿入方向について



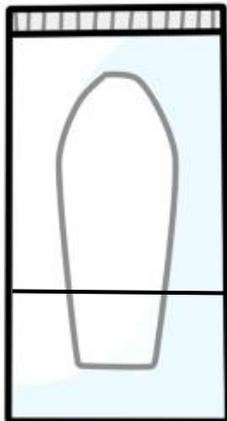
1/2



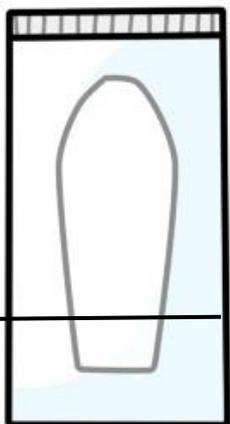
1/3



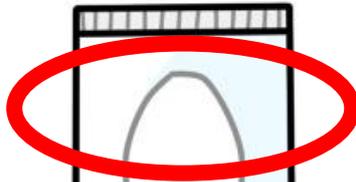
2/3



3/4



4/5



必ず左の図の○で囲んだ部分から挿入してあげましょう！
切って余った下の部分は捨ててください！



4-2、坐剤でよくある質問

- ・ 2種類のお薬を処方されました！
どっちを先に使うとか順番はありますか？

2種類のお薬のタイミングについては戸惑われることがあるかもしれません。

座薬を入れるタイミングによってお薬の効果に影響が出ることもございます。

今回はよく処方されるお薬を例に挙げてお答えします。

- ・ アンビバ坐剤とダイアップ坐剤の場合
この場合はけいれんを押さえる目的で初めにダイアップ坐剤を挿入し、30分以上間隔を空けてから熱を下げるアンビバ坐剤を挿入します。
- ・ アンビバ坐剤とナウゼリン坐剤の場合
初めに吐き気止めの効果を期待してナウゼリン坐剤を挿入します。30分以上間隔をあけてから、解熱を目的としたアンビバ坐剤を挿入します。

ダイアップ坐剤
(けいれん予防のお薬)



30分以上空ける

アンビバ坐剤
(熱をさげるお薬)

ナウゼリン坐剤
(吐き気止めのお薬)

5、点鼻薬の使い方

- ・使用前に鼻をかみ、目に見えるゴミなどは取ってあげて事前に清潔にしてあげてください。

- ①噴霧出来る場合は容器を傾けないようにして、先端を鼻の奥に入れ噴霧。
- ②噴霧後はしばらく鼻をかまないようにしましょう。
- ③使用後は器材の先端をティッシュなどで拭き取ってあげてください。
- ④噴霧するのを嫌がるお子さんには息を口だけにする様に伝え、上を向けさせそのまま噴霧してあげましょう。

6、点眼剤（目薬）の使い方

- ・目の真ん中に水滴を落とすのではなく、目頭のくぼみに落とすようにしてあげてください。
落とした後1~2回のまばたきで目の全体に行き渡ります。
- ・2種類の点眼剤を併用する場合、一つ目を点眼してから五分ほど間隔を空けて点眼してください。
また点眼剤の種類によっては順番もございますので、気になったことはご相談ください。

目薬によっては冷蔵庫で保存する目薬もあります。その為冷たさからくる刺激をお子さんが嫌がる事もございますので、使用する前に手のひらなどであたためから点眼してあげるとよいでしょう。



7、塗り薬の使い方

- ・お薬を塗る前に手と患部をきれいに洗いましょう。
手や患部が汚れていると菌が入ってかえって悪化してしまう事もあります。
患部は綺麗なタオルで拭うなどでも構いません。
- ・医師からの指示にもよりますが、患部にだけではなく患部付近に点々と塗り薬を少しずつ分散させて置いてやり、指先ではなく、手のひらを使って伸ばすように塗ってあげましょう。
この時肌を刺激してしまうため強くすり込むのはおやめください。
軟膏の場合は塗ったところが薄く光って見える程度に、クリームは白い色が消える程度に塗ってあげてください。
- ・塗り薬の塗る量や順番は、症状やお薬の順番によって変わります。医師の指示に従ってお使いください



～大きなお子さんへの服薬の工夫～

産後7ヶ月程度のお子さんであれば、口に入れたモノを素直に飲み込んでくれる事が多く、好き嫌いの判別も覚えていないことの方が多いです。

しかし1～2歳にもなると記憶力や判別、また口の中のモノを飲み込まず吐き出すと言うことも増えていきます。

お薬を飲むのが得意な子、そこまで得意ではない子。

この違いはどこで分かれてしまうのでしょうか？

どうしたらお子さんはしっかり薬を飲んでくれるのでしょうか？



- ・ なんでお薬を嫌がるのか？
 1. 単純にまずいから。
 2. お母さんやお父さんが無理にでも飲ませようとするのに反抗する。
 3. 病気でしんどいから。
 4. なぜ飲まなければならないかが分からないから。
 5. おなかいっぱいだから

主に上記のような理由でお子さんが薬を飲むのが苦手になることが多いです。

また親御さんがお薬を飲むことの必要性を理解していることも非常に重要です。

お子さんの服薬を工夫するに当たってのお願い

お子さんがお薬を飲む時に親御さんにはいくつかお願いがあります。

1. 褒めてあげて楽しい雰囲気を作ってあげる

お薬を飲むと周りが褒めてくれる、喜んでくれる。こういったいわゆる「成功体験」が非常に重要です。ですのでお子さんがお薬を飲めたら多少オーバーになっても褒めてあげてください。

「風邪を治すお薬飲んでくれる人手をあげて～？」

「は～い！」

などお子さんの体力を見て楽しい雰囲気を作ってあげるのも良いかもしれません。

またぬいぐるみを使って簡単な人形劇を行い、お薬を飲ませる所を演技してみせるのも有効かもしれません。



2. 納得してお薬を飲むことを慣らしていく

3歳を超える頃には簡単な意思の疎通が出来るようになります。

「病気を治すためにお薬飲もうね」

など分かりやすくお薬を飲む理由を伝え、問題なく飲めたら褒めてあげましょう。また病気が治った時は

「お薬飲んだから元気になったね」

と少しばかりしつこく伝えておくのもいいでしょう。

3. お薬を飲んでいるところ見せる

日常的にお薬を飲むところを見せてあげるのも有効です。兄弟が飲んだのを褒める、お友達が飲んだのを褒める。また家庭内の大人がサプリメントを飲んでいるところを見せて

「お薬飲んで偉い!」と褒めているところ見せるといった工夫も良いかもしれませんが。(この方法は使いすぎるとスネてしまったりするので使いすぎにはご注意ください)

4. どうしても嫌がる時は少し様子を見る

1～3歳のお子さんは飲めなくても仕方ないと、心の中で余裕は持っておきましょう。

無理矢理にでも飲ませるスタンスや感情はやはりどこか表情や態度に出てしまい、お子さんを怖がらせてしまいます。

少しでも飲んでくれればいい、と言ったスタンスでのコミュニケーションの方がお互いに辛くありません。

少し遊んであげてから

「お薬今は飲んでくれるかな?」

とお願いしてみるのも良いかもしれません。

ここまでが親御さんへのお願いです。

お子さんがなぜ処方されたお薬を飲まなければいけないのか、お薬を飲めたらどうしてあげたらいいか。

お子さんがお薬を飲むにはたくさんの協力が必要です。それでも納得できない、お薬を飲んでくれなくて心配など気になることがあればお気軽にご相談ください



「まずい」 を克服しよう！

味を嫌がる。味覚が大人よりも鋭敏なお子さんなら当たり前のことです。

初めての食感や風味、「苦味」「渋味」など私たちが思っているよりもお子さんには衝撃的な経験になるでしょう。

まずはその事を理解してから対策の始まりです。

- ・ ジャム、プリン、 アイスクリームを工夫する。
散剤（粉薬）で前述していたようにオススメはジャム、プリンです。
- ・ ゼリー状のオブラート（おくすり飲めたね）を使う
薬局などに売っている服薬補助ゼリーで使ってお薬を包む。
またこの時ゼリーの上に薬を出し、その上からゼリーを出して薬全体を覆ってあげるのがオススメです。
また普段からアイスクリームなどはご褒美にあげるようにしておき、 病気の時にお薬を飲んだら食べられるもの、のように特別な食べ物のように見せるのも有効です。



- ・漢方薬は団子にしてあげましょう
漢方薬は練って団子にしてあげたり、暖かいお湯に溶かし、そこにシロップを混ぜ飲ませる等も有効です。団子状にする際は下の写真を参考にしてみてください。



スプーンやスポイト
を使って一滴ずつ調
節するのがオススメ



↑ ○ちょうど良い粘度



↑ ×水が多い



←この程度まで練
ることが出来たら
頬の内側にアイス
などと一緒に塗り
つけて飲ませて
あげましょう！

お薬について何か疑問やご質問がありましたら、
いつでもご相談下さい。

加納総合病院

〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目5-15

TEL 06-6351-5381



パンフレット作製 小児科
薬剤科

監修 小児科専門医 真鍋理恵医師

参考出典

生駒医院「お薬の飲ませ方」

<http://www.ikomaiin.com/index.php?%E3%81%8A%E8%96%AC%E3%81%A%E9%A3%B2%E3%81%BE%E3%81%9B%E6%96%B9>

JA 北海道厚生連旭川厚生病院

「小さなお子様へのおくすりの上手な飲ませ方・使い方」

<https://www.dou-kouseiren.com/byouin/asahikawa/about/vt1bv700000k21d.html>

大分健生病院 小児科便り「お薬を飲まないゾ」

<http://www.oita-min.or.jp/shounika/sub101.htm>

静岡市立静岡病院 薬剤部門 薬の豆知識

「No. 4～6 小児の薬の飲ませ方・使い方(1)～(3)」

<https://www.shizuokahospital.jp/department/pharmacy/medicinal-topics/>